

第 6 次塩竈市長期総合計画の概要

1. 第6次長期総合計画の内容

目指す都市像

うみ やしろ
海と社に育まれる
楽しい



《 まちづくりの基本理念 》

今ある個性を大切にし、みんなでつな
ぎ合わせて、新しい魅力を創り上げて
いく、未来に続くまちづくり

これまで塩竈は、海をはじめとした自然や豊
かな歴史・文化に培われた人々の暮らしに
よって育まれてきました。

個性豊かで調和のとれた持続可能なまちづく
りに向けて、目指す都市像に『海と社に育ま
れる楽しい塩竈』を掲げ多彩な魅力を生かし
た楽しさあふれるみなとまちを、市民をはじ
めとした多くの方々と共に創り上げます。

※計画期間：令和4年度～令和13年度の10年間

1. 第6次長期総合計画の内容

まちづくりの目標と方向性

分野1 子ども	子どもたちの笑い声があふれるまち ～健やかに育つ・育てる環境づくり～
分野2 福祉	みんなが生き生きしているまち ～健康で安心して暮らせる地域づくり～
分野3 生活	快適に住み続けられるまち ～安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり～
分野4 産業	活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち ～活力に満ちた産業づくり～
分野5 交流	何度でも訪れたいまち ～観光交流による賑わいづくり～
分野6 文化	日常に彩りがあるまち ～生涯にわたって学びあえる風土づくり～
分野7 協働	みんなが主役になれるまち ～さまざまな個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり～
分野8 浦戸諸島	自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま ～人々が住まい・集える持続可能な島づくり～

1. 第6次長期総合計画の内容

将来人口推計

①推計結果概要

年齢構成別人口・高齢化率

(人)

	実績値	推計値				
	R2 2020年	R3 2021年	R8 2026年	R13 2031年	R18 2036年	R23 2041年
年少人口	5,513	5,440	5,061	4,627	4,230	3,871
生産年齢人口	29,882	29,482	27,524	25,701	23,681	21,344
老年人口	18,079	18,074	17,993	17,682	17,329	17,044
合計	53,474	52,996	50,578	48,010	45,240	42,259
増減	—	△478	△2,418	△2,568	△2,770	△2,981
高齢化率	33.8%	34.1%	35.6%	36.8%	38.3%	40.3%
合計特殊出生率※	1.24	1.24	1.24	1.24	1.24	1.24

※合計特殊出生率：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」による数値（H20～H24）

②近年人口推移

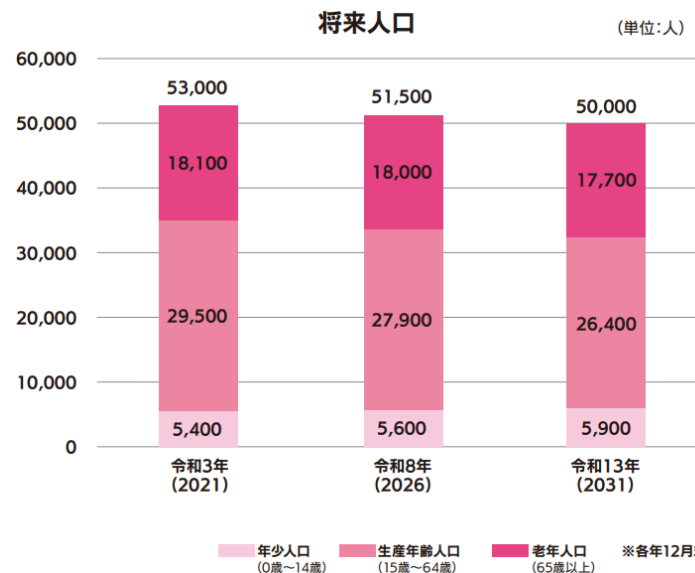
(人)

	R5	R6	R7 (6月末時点)
総人口	52,061	51,726	51,371
自然動態	▲ 582	▲ 543	▲ 341
社会動態	163	208	▲ 14
純増減	▲ 419	▲ 335	▲ 355

※住民基本台帳人口12月末

③将来人口

令和13年 将来人口(住民基本台帳人口12月末)			
内 訳	年少人口 (0歳～14歳)	5,900人	
	生産年齢人口 (15歳～64歳)	26,400人	
	老年人口 (65歳以上)	17,700人	



「塩竈が塩竈らしくここでしかなし得ないかたちで続いていくこと」をテーマに、市民とまちづくりワークショップを全6回開催しました。

参加者のアイデアは、『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』という思いにあふれた「100の暮らし」にまとめられ、計画にも反映しました。

幼稚園や小学校の
遊びや勉強の様子

給食の準備や食卓の
片付けの様子

運動会の準備や
練習の様子

授業の様子

給食の準備や食卓の
片付けの様子

運動会の準備や
練習の様子

授業の様子

	<p>道端の水揚げされた魚介を、 仲居町で焼く道端焼き</p>		<p>「おどろかぬ子」を象った 「だんご」で遊ぶ道端遊び</p>		<p>風味のスウィーツを味らへるとし 道産子スイーツを味らへるとし</p>
	<p>道産子にだけ 道産子を味わう暮らし</p>		<p>道産子農作物を、 収穫できる暮らし</p>		<p>道産子農作物を、 消費できる暮らし</p>

2. 第6次長期総合計画の特徴

しおがま未来創生プロジェクト

機動的・横断的に取り組んで施策連携に伴う相乗効果を発現するとともに、同時並行的に好循環を生み出します。

プロジェクトの推進による好循環のイメージ



プロジェクト 体系図

計画期間：令和4年度～令和8年度

塩浜への愛着・誇りの醸成(未来創生の礎)

重要目標達成指標(KGI)

基準値	前期計画目標値	目標値
65% (令和元年度)	70% (令和8年度)	80% (令和13年度)

(まちづくりに関する市民アンケート)

すみよさ 実感プロジェクト	よこび 実感プロジェクト	やりがい 実感プロジェクト	にぎわい 実感プロジェクト
住みやすさを 52%▶57%▶70% 基準値 前期目標値 目標値	子育ての満足度を 38%▶43%▶50% 基準値 前期目標値 目標値	仕事の満足度を 67%▶72%▶80% 基準値 前期目標値 目標値	住みたいを 9%▶14%▶20% 基準値 前期目標値 目標値

「100の暮らし」からのまちのイメージ

1. 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
2. 子どもたちが生き生きしているまち
3. 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
4. さまざまな人たちがつながり、賑わいがあるまち

国の第2期総合戦略基本目標

1. 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

3. 後期基本計画の策定

総合計画の構成と期間

基本構想で定める「まちづくりの目標」の達成に向けて、第6次長期総合計画より、基本計画を前期・後期に分け、社会情勢等の変化に対応できるよう想定しております。

そのため、令和7年度より前期基本計画で定めた施策の成果の検証を開始し、令和9年度からの後期基本計画への施策の展開に繋がります。

